

平成二十五年秋の展示会報告

平成二十五年秋の特別展（十月五日（土）～二十四日（木））は、「旗本

御家人Ⅲ お仕事いろいろ」と題した展示会を開催しました。展示は、まず大奥女中や将軍の子女に乳をあたえる幕臣の妻たちに注目。続いて幕府の医師や天文観測をもとに暦を作成した天文方、幕府の蔵書や文書の保存に努めた書物方の活動などを取り上げました。

あわせて文学・音曲・園芸等の世界で活躍した幕臣とその作品や著書を紹介。最後のコーナーでは、金座における金貨鑄造の様子を描いた絵巻や、幕末に上方に出張した幕臣から江戸の同僚や家族に当てた手紙も展示しました。展示資料は約四十五点。資料名は以下のとおりです。

大奥の女性たち（御乳付・薩摩姥・御乳持・御伽坊主）

御嫡子様御実録 恩賜例 諸向地面取調書 小児必用養育草 女中帳

（御乳持） 御触書天保集成 蛭の焼藻の記 女中帳（御伽坊主）

大奥の小児医療（奥医師）

奥御医師誓詞（多聞櫓文書） 多紀養春院ほか二十八名奥医師名前（多聞櫓文書） 当世武野俗談 朝廷日記

近侍する人々（小性・小納戸・公人朝夕人）

吉宗公御一代記 流芳録 瀬田問答 慶長年録（元和年録） 武鑑

監察の仕事（大目付・目付）

久松日記 一話一言 自家年録（森山孝盛日記） 俗耳鼓吹 田沼実秘録

公金の運用（先手鉄炮頭の試み）

思忠志集 続編武林隠見録

記録保存のための仕事（書物奉行・書物同心・小普請）

鳥けもの孝義伝 後撰和歌集 御書物方日記 小役人帳

天文方の仕事

貞享暦 大経師暦 寛政暦書 靈憲候簿 万国普通暦 万国普通暦御入用之儀二付申上候書付（多聞櫓文書）

江戸文化を彩る旗本御家人たち（狂歌・三味線・園芸）

奴師勞之(奴風) 耳囊 奈良柴 一話一言 荳野茗談 草木錦葉集
奇品家雅見(草木奇品家雅見)

幕臣の手紙・金座絵巻

幕臣の手紙(多聞櫓文書) 金吹方之図

なお、本展示会を再編成したデジタル展示「旗本御家人Ⅲ」を、当館ホームページで公開しております。是非、ホームページをご覧ください。
ホームページのアドレス

<http://www.archives.go.jp/exhibition/digital/hatamotogokenin3/index.html>



『金吹方之図』(請求番号 183-0845) より